



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

## 第3回 定例会 代表質問

# 少子高齢化社会に 立ち向かえ!

9月20日 公明党川崎市議会議員団の代表質問が行われました。質問に立った吉岡としすけ議員は多様な子育て環境の整備、いじめ問題、高齢者対策など、23項目にわたり本市の取組をたどしました。



代表質問に立つ吉岡としすけ議員

## ① 多様な子育て環境整備を!

待機児童数は減少しているものの、ターミナル駅周辺や再開発が行われた人口急増地域では、益々深刻化しています。待機児童問題に対する現状認識と具体的対応策についてたどしました。

こども本部長は「平成24年度に

1435人、平成25年度に1350人の定員増を図ることとともに、認可外保育施設についても年度内に基本方針を決定する」と答弁しました。また、病後児保育については平成26年度までに1か所の施設増を図ることを明らかにしました。



©NEW KOMETO



©NEW KOMETO

## ② いじめを無くせ!

いじめにより尊い命が失われる悲しい事件が頻繁に報道されているなか、本市においても過去尊い命が失われる痛ましい事件がありました。この経験を風化することなく、取り組みを強化するようたどしました。

教育長は、教師の初任者研修に具体例を取り上げた事例研修などを行っていることを明らかにし、教育内容の工夫や関係部局との連携など、いじめに対する対応力の強化を図っていくことを表明たどしました。

## ③ 高齢者に安心した居住環境を!

介護施設の整備、在宅サービスの提供、さらに認知症に対する支援など、本市の取り組みをたどしました。

健康福祉局長は地域包括支援センターの整備が53%で有り、在宅生活を支えるのに必要不可欠な24時間対応の訪問介護サービスを5事業所が行っていることを明らかにしました。さらに認知症対策として、かかりつけ医等の医療関係者や介護支援関係者が参加する「川崎市認知症支援連絡会議」を設置し支援強化を図ることを表明しました。

## 平成25年度予算要望書を市長に提出

10月15日、来年度予算に向け、403項目にわたる要望を市長に提出しました。

